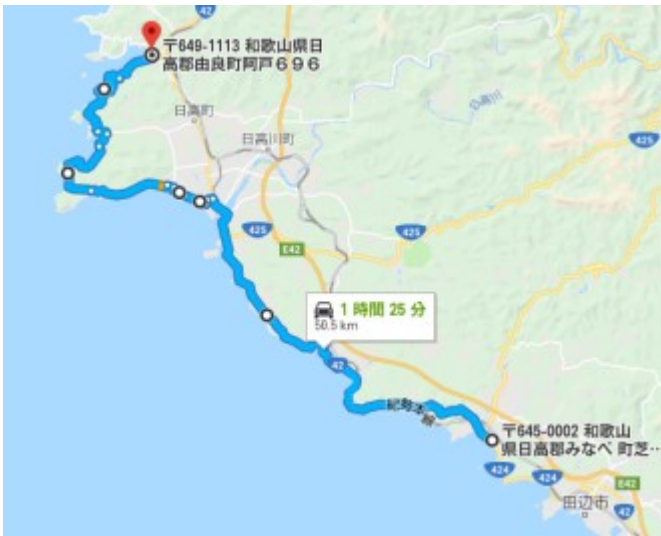


3/16 南部駅～由良駅 (53 Km)

天気:曇り後晴れ



① (南部駅～切目駅、12Km、2/24 に歩行)

■コースの概要

御坊駅 (9 : 11) ==<JR きのくに線>== (9 : 33) 切目駅 (9 : 37) … (9 : 52) 切目中山王子 (9 : 55) … 榎木峠… (10 : 25) 徳本上人号碑… (10 : 35) R42 合流点… (10 : 40) 有間皇子結び松の記念碑… (10 : 57) 岩代王子 (11 : 05) …岩代駅… (11 : 50) 千里王子・千里の浜 (12 : 32) … (12 : 47) 岩代梅林トンネル上 (13 : 20) …南部峠の石仏…紀州梅干館… (14 : 03) 三鍋王子 (14 : 06) … (14 : 16) 南部駅 (14 : 32) ==<JR きのくに線>== (15 : 08) 御坊駅

■地図



■メモ

- ・今日の最高気温は 13℃、最低気温 3℃の予想、3月上旬並みの暖かさの予報。御坊駅からは普通電車 117 系 (モハ 116-305)、9 時 11 分発紀伊田辺行に乗る。運賃は 410 円、22 分間の乗車。
- ・切目駅には定刻 9 時 33 分に到着。千里の浜と梅林からの電車撮影の時間を確保するためにすぐに出発する。駅出口直ぐのガード下をくぐって集落の中を登っていく。わかりやすい道標があるので歩きやすい。



・切目中山王子には古道歩きの夫婦連れと切目駅で一緒に降車した人と出会う。切目中山神社は足の宮とも称されている。道標に沿って峠の方に向かう。峠を通過し、緩やかな下り坂を歩く。途中梅林があるが既に散っている。梅の満開は去年より1週間ほど早い。椿の木もあり、散っている花もあるがきれいに咲いている。



・徳本上人名号碑に10時25分に着き、左折して旧道を橋ヶ谷に向け歩く。海岸段丘上の平坦な道を東進し、周りにはビニールハウスでの畑づくり（花卉栽培が主か）が盛んである。



・印南や名田の方の海岸線や南部・白浜方面の海岸線も見え始める。旧道とR42号線との合流点には10時35分に着き、暑くなってきたので上着を脱ぐ。交通量が多いので国道の左の歩道を歩く。5分ほどで、有間皇子結び松の記念碑に着く、すぐそばに水準点(32.9m)が設置されている。

・西岩代川の橋を渡って、歩道を国道の下に降り、JRの岩代踏切を渡ると岩代王子に着く(10時57分)。王子の南には岩代浜が目の前に広がる。



- ・来た道を少し戻り、JR 岩代駅前を通り舗装された新しい道を歩く。見晴らしが良くなり海と橋ヶ谷・伏山の海岸段丘（20～30m）が見え、海岸線を JR 線が通っている。R42 の合流地点まで登坂を上がっていき、登りきったところから少し下る。道標に従って畑の中の道を登り、後は海岸に向かって下っていく。途中、梅林と槇の木の並木もあり、別荘の間を歩く。
- ・JR 線のガード下をくぐり、千里の浜の砂浜に出る。200m くらい砂浜を歩き千里王子に着く。熊野古道随一の景観といわれる千里の浜は素晴らしい。



- ・JR 線の撮影ポイントを探して千里観音と駐車場に行き、千里観音の駐車場の間にあるフェンスが張られた芝生の場所を見つける。休憩しながら千里の浜を通過する JR の電車を待つ。113 系普通電車の上下 2 本の通過を撮影することができた。



- ・和歌山方面の 113 系電車の撮影の後、直ぐに歩き始め梅林のトンネルの上をめざす。道標に従って線路沿いに歩き、ガードの下をくぐって線路の間の道を登っていく。この辺りは梅林が多くきれい。一般道と合流し少し南に戻り、撮影ポイントを見つける。
- ・直ぐに、287 系の和歌山方面行き特急「くろしお」が通過し、少しして白浜方面行き 381 系臨時団体列車が通過する。出発時間ギリギリに、白浜方面行き 287 系特急「くろしお」が通過していった。梅の花が満開の時期は素晴らしいだろう。訪れるのが今年は少し遅かった。残念。



- ・ 13時20分に出発、南部岬の石仏を通り南部の町へ緩やかに下っていく。R42 国道のガードをくぐり、国道の脇の歩道を歩き、紀州梅干館に着く。観光バスで訪れた団体客で大混雑している。トイレ休憩だけで通過し、南部川に架かる南部歩道橋を渡り、街中を歩き三鍋王子に 14時03分に着く。
- ・ 三鍋王子から 10分で JR 南部駅に着く。和歌山方面御坊行き普通電車までは 16分の待ち合わせで、14時32分発。御坊行き普通電車は 113系（クモハ 113-2060）のワンマン 2両編成。途中、車窓から紀州の海を撮影する。御坊駅には定刻 15時08分に到着。



②林(切目駅～西御坊駅、15Km)

■コース概要

南部駅 (9:18) ==<JR きのくに線>== (9:29) 切目駅 (9:35) … (9:50) 切目王子 (10:00) … (10:15) 斑鳩王子… (10:43) 印南港公園 (10:53) … (10:58) 津井(叶)王子 (11:00) … (11:50) 上野王子 (12:03) … (12:10) 仏井戸 (12:16) … (12:50) 壁川崎 「はし長」 (13:00) … (13:08) 清姫の草履塚 (13:10) … (13:47) 塩屋王子 (14:00) …天田橋… (14:40) 西御坊駅 (15:10) ==<紀州鉄道>== (15:18) JR 御坊駅

■地図



■メモ

- ・未明に雷雨となり朝も雨が残り強風注意報が発令されている。しかし、天気予報は、午前中雨が残るがその後は晴、最高気温は12℃の予報。風が強いので体感温度は10℃以下、宿の女将に南部駅まで車で送ってもらえることになった。
- ・南部駅からは和歌山行き普通電車225系5000番台(クモハ224-5026)に乗車する。千里の浜や岩代駅から切目駅間の海岸線を車窓から写真に収める。
- ・駅で風よけの上着を着て出発する。風が強いが雨は上がった切目の町中を切目王子をめざして歩き始める。道標がなく右折するところを見逃しR42号線の合流点まで来てしまうが、すぐ右手に切目王子のこんもりとした森が見え、畑の中に道が通じている。切目王子は、五躰王子のひとつにあげられ、うっそうとした森の中に立派な社がある。



- ・切目王子からR42号線の歩道を15分歩くと斑鳩王子に着く。国道の標識の所の階段を上ると王子である。紀伊水道の展望が開けている。



・ここからは国道を離れて印南（いなみ）漁港に向かって旧道を下り、光川の集落を登って越すと印南漁港である。印南港の奥に、海拔 20m 弱の畑野崎の見事な海成段丘が見えている。この後も同様だが、この辺りの海成段丘面は平坦面（海拔 20m～30m）が連続しているが、小さな河川を横切る度に上り下りを繰り返す。R42 号線に沿って印南漁港を回り込み、浜西地区にある防潮堤の下にある公園で休憩する。公園内にトイレがある。



・公園の西側の山手に津井（叶）王子がある。道標に従って登っていくと上に広場があり王子がある。社はないが叶王子の名称にちなんで夢が叶う絵馬が掛けられている。



・坂道を下りしばらく国道を進む。緩やかな上り下りを繰り返しながら海成段丘上を進み、楠井の集落からは旧道をずっと歩き、名田町上野の上野王子に着く。途中の清姫の腰掛石は見逃してしまう。楠井や上野には小さな漁港があり、段丘上ではビニールハウスでの花卉栽培が盛んである。ビニールハウスの中は紫色のスターチスが満開で出荷を待っている。上野王子に隣接する改良区会館の前でランチ休憩にする。



- ・道標に従って仏井戸へ向かう。交通量が多い R42 号線を横断するのに一苦労する。井戸の北面に仏さまが彫られている珍しいもの。現認できず。元の旧道に戻り、立派な建物の御坊市立名田小学校や和歌山高専の前も通る。高専は今日が卒業式で華やかな雰囲気である。
- ・名田町野島に入り壁川崎（かべござき）の付け根のフィッシュテラス「はし長」に着き、休憩する。入り江の向こうに御坊発電所、その奥に日ノ岬の海岸線が見渡せる。一方、壁川崎は鋭い岩稜が荒々しく切り立っている。



- ・ R42 号線を左に入り、清姫の草履塚に着く。しばらく旧道を歩き国道に合流し、GS の所から国道から離れ旧道に入る。祓井戸観音寺の前を尾根筋まで登っていく。振り返ると紀伊水道と名田町の街並みが見渡せる。旧道は尾根筋を越し、南塩屋の集落へと下っていく。
- ・南塩屋の旧道を少し歩くと、右手に光専寺の巨木が見えてくる。新日本名木百選に選ばれたイブキ、柏、槇の巨木が圧倒的な存在で聳えている。ビャクシンは県下でも最大級で樹齢 600 年以上と推察されている。
- ・旧道に戻り北上し王子川に架かる王子橋を渡り、老樹に囲まれた美人王子と称される塩屋王子に着く。



- ・休憩の後、紀州鉄道西御坊駅をめざし歩き始める。国道からそれて湊歩道橋を渡り、日高川河口を見ながら天田橋をめざす。日高川河口はハマボウの日本有数の群生地、日本の湿地百選に選ばれている。日高川に架かる天田橋を渡り、R42 号線沿いに歩き小竹八幡神社の森をめざして歩く。紀州鉄道の廃線となった西御坊駅から日高港間の線路跡が現れ、線路跡に沿って北上し西御坊駅に 14 時 40 分に到着する。



・日本で2番目に短い鉄道の紀州鉄道は、現在は旧信楽高原鉄道の車両を使用している。そのうちのKR301気動車が停車している。車両の入口には、お面やおもちや、駄菓子を置いたコーナーがあり駄菓子屋列車のように設えている。観光客が写真を撮っている。西御坊駅を15時10分に発車し、民家の軒をかすめるようにゆっくりと御坊市内を走り、JR御坊駅には8分間で到着する。運賃180円



③友野(由良駅～西御坊駅、26Km)

630 起床、700 朝食

800 民宿発、駅まで女将さんに車で送ってもらう

825 南部駅発、紀勢本線(670円)

910 由良駅着



920 由良駅発、歩行開始、今日は風が強い

1040 小杭、少し登りがきつい、登り下りが多い

1200～1230 産湯海水浴場、サーファーが多い



1400 三尾、カフェ「メリケンハウス」でスパゲッティとコーヒーで休憩

1445 煙樹が浜、砂浜がきれいな海岸が長く続く



1540 西御坊駅着

1610 西御坊駅発、駄菓子屋電車に乗る、おもしろい



1620 学問駅着

1630 ホテル着、ビジネスホテルセントラル(朝食付き 5800 円)

コインランドリーで洗濯をする

夕食は林の紹介のうなぎ屋で、ビールでウナギを食べる